

自動車内装材、包装材料等の VOC(揮発性有機化合物)の測定

概要

各種の捕集方法とGC/MS、HPLCの組合せで自動車内装材、包装材料等から発生するVOCの測定をおこなう。

試料形態やVOC発生量に応じて 4種類のVOC捕集方法から選択

● 吸着管捕集

VOC成分を吸着管に吸着捕集する守備範囲の広い捕集方法

● 固相担体捕集

VOC成分を固相担体に吸着捕集
容器等の内部のVOC分析に適している
濃縮効率が高いので微かなVOCも測定できる

● テドラーバッグ内加熱/吸着管捕集

テドラーバッグ内に試料と窒素を入れ、一定温度に加熱してVOC成分を放散させ、
バッグ内のガスを吸着管捕集して、アルデヒド類やトルエン、キシレン等を測定する方法
自動車内装材の評価に広く活用されている

● 直接加熱/冷却捕集

試料を直接加熱してVOC成分を熱抽出
成形加工時のVOC等、高温で発生するVOC成分の捕集に特に有効

分析対象	捕集方法			
	吸着管捕集	固相担体捕集	バッグ内加熱/吸着管捕集	直接加熱/冷却捕集
自動車内装材部品	○		◎	
ペレット、フィルム、成形品のVOC	◎	○		
パウチ、容器内のVOC	○	◎		
ポリマー成形加工時のVOC	○			◎
微かなVOC	○	◎		

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

お問合せ ☎03-5524-3851